

住民自治協議会だより

第16号

発行 小田切地区住民自治協議会

〒380-0876
長野市大字山田中2545

TEL 026-229-1511 FAX 026-229-2074
E-mail otagiri-jitikyoku@ngn.janis.or.jp

平成28年度 住民自治協議会総会 平成28年4月22日開催

総務・安全防災部会

- ・富士の塔登山道の整備
- ・小田切地区防災訓練の実施
- ・やまざと支援交付金事業の実施
- ・三地区交流会の実施
- ・地域おこし協力隊との協働

福祉・健康部会

- ・第二次小田切地区地域福祉活動計画の策定
- ・福祉委員会事業の実施と健康保健活動の実施

環境・地域活性化部会

- ・農産物の有害鳥獣対策や遊休農地の活用対策
- ・水内鎮神社御柱祭の応援
- ・地域間交流事業

教育・文化部会

- ・スポーツを通して、健康維持や世代間交流を図る
- ・明るい社会運動住民集会や人権啓発活動の推進

一般会計 収入の部

公的補助金	交付金	5,318,000
	補助金	1,440,000
負担金	各区負担金等	1,308,000
雑収入他	寄付金等	147,172
繰越金	前年度繰越	1,926,828
収入合計		10,140,000円

一般会計 支出の部

事業費	総務・安全防災部会	822,000
	福祉・健康部会	2,202,000
	環境・地域活性化部会	697,000
	教育・文化部会	1,442,000
運営費	事務局費	3,437,000
配分・委託費	各区配分・団体補助	359,200
繰越金	福祉自動車	100,000
	やまざと支援	300,000
	地域やる気支援	145,000
	会計基金	300,000
予備費		235,800
積立金		100,000
支出合計		10,140,000円

住自協	部会	氏名	団体
会長	総務・安全防災部会長	池田 光揮	区長会長
副会長	総務・安全防災副部会長	関口 宜桁	区長会副会長
〃	総務・安全防災副部会長	山上 卓秀	消防小田切分団長
〃	福祉・健康部会長	原田 節子	福祉委員会長
〃	福祉・健康副部会長	宮澤ゆき江	保健補導員会長
〃	環境・地域活性化部会長	寺尾恭四郎	環境美化連合会長
〃	環境・地域活性化副部会長	村井 一雄	遊休農地活性化委員会
〃	教育・文化部会長	木下 綾夫	地域公民館連絡協議会
〃	教育・文化副部会長	塩入 徳男	人権教育促進協議会
会計	総務・安全防災部会	宮尾 直衛	区長会
監事	〃	酒井 久吉	〃
〃	〃	大日方克利	〃



住自協会長のつとめ

皆で参加し活力ある地域づくりへ

小田切地区住民自治協議会長 池田 光揮



4月の役員改選で、不肖私が会長に推挙され大任を担うことになりました。もとよりその器ではありませんが、役員各位、地区の皆さん方のご支援とご協力を賜りまして「小田切を元気に！」を合言葉にして、頑張っ参りたいと思います。

地区の状況も、少子高齢化、人口減少、山中間地域等幾つかの悩みを抱えている現状ですが、決して諦めることなく、皆で英知を結集したいものです。

今年度は地域間交流事業として、近隣の安茂里地区及び三輪地区との交流会を計画し、実施しています。

水内鎮神社御柱祭

水内鎮神社 氏子総代 竹内 重雄

住民自治協議会に感謝感謝。申年、寅年に実施して来ましたが、水内鎮神社の御柱祭ですが、昨年の地区の春祭りにアンケートを集計した結果、中止が決定されました。そんな中、昨年の暮れに山上前事務局長より、協賛金、並びに地域おこし協力隊も応援するからとの声を掛けて頂き早速地区の新年会の席で皆さんに相談したところ、何とか実施する事になりました。今回は池田前教育文化部長にも参加を頂き実行委員会を立ち上げ、数回の会議を行い5月4日に実施する事に決定し準備に入りました。協力隊、地元の皆さんの協力で、御神木の伐採、引綱、お宮の清掃等の準備も順調に進み当日を迎えました。心配されましたが当日は好天に恵まれ、今回は小田切園の閉園等がありましたが、住民自治協議会の地域間交流事業で近隣の安茂里地区から消防団員を含め60人程が応援に参加頂き、又地区内外からも大勢の御来賓にもお出で頂きました。又前回同様吉田地区の神楽の奉納応援も頂き、かくも盛大に事故も無く無事実行する事が出来ました。又参加者の中からは是非次回寅年も実施して頂きたいとの声も出ました。次回は小田切地区住民全員が氏子になり盛大に実行出来ればと思います。



実施する事になりました。今回は池田前教育文化部長にも参加を頂き実行委員会を立ち上げ、数回の会議を行い5月4日に実施する事に決定し準備に入りました。協力隊、地元の皆さんの協力で、御神木の伐採、引綱、お宮の清掃等の準備も順調に進み当日を迎えました。心配されましたが当日は好天に恵まれ、今回は小田切園の閉園等がありましたが、住民自治協議会の地域間交流事業で近隣の安茂里地区から消防団員を含め60人程が応援に参加頂き、又地区内外からも大勢の御来賓にもお出で頂きました。又前回同様吉田地区の神楽の奉納応援も頂き、かくも盛大に事故も無く無事実行する事が出来ました。又参加者の中からは是非次回寅年も実施して頂きたいとの声も出ました。次回は小田切地区住民全員が氏子になり盛大に実行出来ればと思います。

住民自治協議会地域間交流事業の開催

安茂里地区交流会

7年ごとの水内鎮神社の御柱祭、地元の少子高齢化に伴い開催が危ぶまれていましたが、安茂里地区住民自治協議会との地域間交流事業の一環で応援を得て開催できました。5月4日当日は、安茂里住自協、裾花中学、消防安茂里分団など総勢60名に加わってもらい実行することができました。ご協力に感謝します。

一方、安茂里地区で5月22日開催されたスポーツの祭典には、小田切地区からはスマイルボーリングとマレットゴルフに参加しました。また、6月27日にゲートボールが開催され、老人クラブの7名が参加し交流を深めました。



御柱祭懇親会

三輪地区交流会

三輪地区との交流会は、好天の5月14日(土)に小田切地区で開催しました。三輪地区からの参加は20名で、当日開館した鉄道模型館のオープニングセレモニーに参加し、ジオラマの見学と運転体験をしました。その後、NPO小田切オアシスの小野平わらび園で高原のさわやかな空気の中でわらび狩りを楽しみました。

午後は錬成センターで交流会。小田切地区の22名も加わり歓迎式と昼食会で、両地区の交流が一層深まった一日となりました。

次回は三輪地区で10月30日(日)開催の「ひまわり広場」に、小田切地区からも出展を計画しています。



鉄道模型展示館見学

ポンプ操法大会 準優勝 『勝ちて和す』 の下で

消防小田切分団 分団長 山上 卓秀

7月3日、第49回長野協会大会長野会場、ピーンと静まり返った会場に響く「集まれ！」の指揮者の発する号令、各番員がまるで精密機械の一部のように動き出し整列する。指揮者は、呼吸を整え一気に火点に向かう指示を繰り返し、それに応え番員は、機関の周りで機敏に操作を開始する。その後次々と発せられる号令の中番員が動く。ひたすら標的を倒すため、気持ちを繋ぎ思いを繋ぎただ走り、わずか40数秒の為に駆ける。周りの団員は高鳴る鼓動を抑えひたすら祈り、彼らの走る様に思いを乗せ、希望を重ねて、そして分団に勝利の栄光が授かることを思い描き全員の気持ちが一つになる。「勝ちて和す」の言葉の下、分団が最高の結束をつかんだ瞬間であった。

- 長野市大会 5位通過
- 長野協会大会 準優勝 (参考減点2.5)

最後に、訓練期間中での選手並びに分団役員の献身的な努力と、安茂里分署の皆様の指導、小田切地区関係者の皆様の物心両面での温かい応援、本当に感謝致します。ありがとうございました。これからも小田切分団の活躍に期待してください。



ひとり暮らし高齢者の集い開催

地域福祉ワーカー 西山一二美

7月7日(木)に今年も「ひとり暮らし高齢者の集い」が開催されました。民児協との共催でふれあい会食会も兼ねた行事になります。今年度の対象者は69名。その内25名の方が元気に参加されました。

参加者代表の和田英子さんは「支えられている実感があるから頑張れる」と挨拶されました。

来年も元気に参加ください。



湯山若妻劇団

団長 山口 明子

今から5年前の文化芸能祭で初めて方言劇を発表したところ思った以上に反響が大きく、その後地区内外を含め11回ほど

公演しました。今年も静松寺(茂菅)や中条地区ふれあい祭りと11月3日のむしくらまつりの公演が決まっています。皆さんの笑顔を励みに、これからも仲間とともにこの劇団を続けていきたいと思っています。



28年度 地域やる気支援事業

災害時連絡体制整備事業の強化

小田切地区住民自治協議会は、27年度に災害発生時の通信手段として地区内11区に携帯型無線機を配備し、停電時等における非常連絡体制を確保し防災組織の拡充を図ってきました。

28年度も更に充実した災害時連絡体制整備事業を目指し、携帯型無線機を各区1台増設し自主防災副会長(副区長)にも配備できるように強化します。今年は長野市やる気支援事業補助金55万円が交付され、総額67万円の事業です。テスト通信は毎月の区長会前に行っていますが、非常時に備えたバッテリーの充電は常時確認をお願いします。



「小田切オアシス」だより 市中山間地優良農地復元事業に取り組みます

NPO小田切オアシス
理事長 酒井 昌之

当法人では、この度、「市中山間地優良農地復元事業補助金」の交付を得て、小野平地区の耕作放棄地20㍍の復元に8月5日着手しました。

当日の復元式は、市から樋口博副市長、農業委員会からは小山英壽会長始め来賓約20人をお迎えし盛大に行われました。

式典の後、直ちに復元作業がオアシス、市民菜園入園者、小田切地区のボランティアなどにより行われ、丈余に生い茂った萱などの刈り取りを行いました。

草刈りの後は、樹木の伐採、搬出、伐根、石抜き、搬出、整地、土壌改良、耕耘となり復元します。

●市民菜園は順調です。

4月オープンした市民菜園はお陰様で、21区画全てが埋まり順調に推移しています。

キタアカリと男爵を栽培した安茂里の夏目さんは

「豊作でびっくりです。嫁いだ娘に送ります」とっこり。また、とうもろこしを栽培した川中島町の宮川さんは「黒姫産よりも美味しい。最高です」と目を細めていました。このほか、葱、高原豆、枝豆、人参、カボチャ、里芋、キャベツ、ブロッコリーなど多くの野菜が作付けされており、入園者で活気にみちています。

●アマワラビ栽培にも県の補助金が交付されました。

2年目を迎えたアマワラビ園にも県から補助金が交付され引き続き育成、管理に当たっています。

植え付け希望の方は、住民自治協議会（担当長田推進員）にお申し込みください。



地域おこし 協力隊活動

北欧視察 エルダーフラワーの国、スウェーデンを訪ねて

地域おこし協力隊 安西 晋

今年から小田切特産品づくりの一環として、青少年錬成センターの援助協力のもと、錬成センター敷地内でエルダーフラワーの栽培試験を行いながら、エルダーフラワーを使ったイベント等を実施しています。

エルダーフラワーについての情報は、主にインターネットから得ていましたが「どんな花なの?」「どのくらいの高さになるの?」等々質問されても「ネットによれば……と言われていています」としかお伝えできず、やはり一度はこの目でその実態を確かめねばと思いい、エルダーフラワーの故郷「スウェーデン」を訪ねてきました。

6月下旬、スウェーデンはストックホルム。市街を見渡せば、そこかしこにエルダーフラワーの白い花が咲き乱れ、まるで日本の街角に咲くアジサイのよう。案内人Tさんによれば「特に栽培はされてはいないようです。道端、川岸、林、公園等にごく普通に自生しており土壌も選ばないと思います。6月になると白い花がたくさん咲き



ます。健康意識の高いスウェーデンの人々は、効能のある花を摘んでハーブティーやソフト（花のシロップ漬け）などを作ります。スウェーデンでは公共の場に生えているものは誰が取ってもいいのです。また、エルダーフラワーを使った商品も数多く販売されていますよ。」

エルダーフラワーが繁茂している場所を5か所ほどめぐり、今度は商品を探しにスーパーマーケットや市場を見にいくと、「エルダーフラワー入り炭酸水」「エルダーフラワー入りリキュール」「エルダーフラワージャム」「エルダーフラワーベリーのシロップ」「エルダーフラワー入りシードル」等々数多くの商品が販売されていました。

百聞は一見に如かず。いかにエルダーフラワーが生活に密着した作物であるかを実感でき、とても有意義な見聞となりました。

また、9月にはフィンランドへの視察を計画しています。



やまびこ

新年度がスタートし、地区内外の協力で無事存続できた御柱祭、消防小田切分団のポンプ操法大会での大活躍が地区内に元気をくれました。更に、地域おこし協力隊2名の活動は、今まで小田切地区になかったものを発信してくれています。2年目の今年、地区内に住居を構え、まさに小田切人となりました。

今年は「活き生き小田切みんなでトーク」が開催されます。9月17日（土）です。